

007 / 消されたライセンス (1989)

LICENCE TO KILL
LICENSE TO KILL [米]

メディア 映画

ジャンル アクション サスペンス

製作国 イギリス / アメリカ

色彩 Color

時間 133分

初公開日 1989/09/30

公開情報 UA=UIP

映倫 G

【解説】

4代目ジェームズ・ボンド、ダルトンの2作目にして最終作であるシリーズ第16作。ボンドとフェリックス（ヘディソン）が逮捕した麻薬王サンチェス（ダヴィ）は部下の手で脱走、フェリックスに瀕死の重傷を負わせ、彼の新妻を殺した。友人の仇を討つためボンドは単身サンチェスへ近づいていく……。

今回のボンドはスパイではなく、“M”からの新たな任務を無視し、言わば個人の資格で動く一人の男である。一介の刑事がビルをハイジャックした悪人を倒してしまう時代にもうスパイの出番はなく、模索した上のボンド像と言えよう。ムーアや（後の）ブロスナンのような線の細さもなく、威風堂々たるダルトンはボンドとして申し分ない。原題は聞き慣れたような気がするが、ストーリー共々原作にはないオリジナルのもの。邦題が何故“消された”になっているかと言うと、内容もそうなのだが、はじめのタイトルが“License Revoked”だったから。ローウェル、ソト、共に素晴らしいのに、ボンド・ガールのジnkスどおり未だにビッグにはなっていないのは残念。「ブラック・レイン」「リーサル・ウェポン2 / 炎の約束」などと同時期、日本劇場五周年記念作品として公開され、アクション映画ファンにとっては夢のような（そしてある意味、悪夢のような）秋であった。主題歌グラディス・ナイト。

【クレジット】

監督	ジョン・グレン	John Glen	
製作	アルバート・R・ブロッコリ	Albert R. Broccoli	
	マイケル・G・ウィルソン	Michael G. Wilson	
脚本	マイケル・G・ウィルソン	Michael G. Wilson	
	リチャード・メイボーム	Richard Maibaum	
撮影	アレック・ミルズ	Alec Mills	
音楽	マイケル・ケイメン	Michael Kamen	
主題歌	グラディス・ナイト	Gladys Knight	
テーマ曲	モンティ・ノーマン	Monty Norman	(ジェームズ・ボンドのテーマ)
出演	ティモシー・ダルトン	Timothy Dalton	ジェームズ・ボンド
	キャリー・ローウェル	Carey Lowell	パメラ・ブーヴィエ
	ロバート・ダヴィ	Robert Davi	フランツ・サンチェス

タリサ・ソト	Talisa Soto
アンソニー・ザーブ	Anthony Zerbe
フランク・マクレ	Frank McRae
エヴェレット・マッギル	Everett McGill
ウェイン・ニュートン	Wayne Newton
デズモンド・リュウェリン	Desmond Llewelyn
デヴィッド・ヘディソン	David Hedison
プリシラ・バーンズ	Priscilla Barnes
ベニチオ・デル・トロ	Benicio Del Toro
グランド・L・ブッシュ	Grand L. Bush
ケイリー＝ヒロユキ・タガワ	Cary-Hiroyuki Tagawa
ロバート・ブラウン	Robert Brown
キャロライン・ブリス	Caroline Bliss
アンソニー・スターク	Anthony Starke